

No.

2023 年度 数 学 科 年間学習計画表

山形県立長井高等学校

科目	探究数学Ⅲ	単位数	2	週時間数	2	年次・コース・組	3年・一般コース理系
使用教科書 副教材等	数学Ⅲ(東京書籍) リンク数学Ⅰ・A＋Ⅱ・B(数研出版) stage『数学Ⅲ』(東京書籍) ほか						

① 学習の到達目標

○ 演習活動を通じて、数学Ⅰ、数学Ⅱ、数学Ⅲ、数学Aおよび数学Bの体系的な理解を深める。 ○ 知識の習得と技能の深化を図り、課題とされる事象を数学的に考察し表現する能力を伸ばす。 ○ これまで学んだことの有機的なつながりを知り、知識技能を積極的に活用し数学的な考察を通じて判断する態度を身につける。

② 評価の観点、方法

○ 学習活動への取り組み、課題・提出物の状況をもとに、数学で表現できることについて積極的に活用して判断しようとする態度を評価します。 ○ 記述型式のレポートプリントの内容、学習内容の記録ノートの内容をもとに、学んだことを発展的に考えて、数学的な見方や考え方が身についているか評価します。 ○ 定期試験・課題テスト・JUMPテストの結果をもとに、学んだことを処理する仕方や事象を数学を用いて表現する技能が身についているか評価します。 ○ 定期試験・課題テストの結果をもとに、授業で扱ったことの基本概念・数式を用いての処理など体系的に理解し、知識を身につけているか評価します。
--

③ 担当者から

○ 数学ⅠAⅡBと数学Ⅲの演習等を行います。 ○ これまで身につけた知識を与えられた時間で自分で判断して解く。この演習の繰り返しで学んだことの定着を目指します。初めて見る問題をどのように処理するのか。多くの経験を積んで自在に数学を操れるようになります。 ○ 扱う問題も限られてきます。良問を扱います。効率的な学習を心がけましょう。

※ 前期反省

--

※ 年間反省

--

※ 次年度に向けて

--

④ 学習計画（どのような内容を、どの時期に学ぶのかを含む）

月	単元名	教科書項目等	・主な学習活動(指導内容) ◎評価のポイント ○留意点	授業時数
4	2章 複素数平面	1 複素数平面 2 図形への応用	複素数平面を理解して、それらを事象の考察に活用する。平面上の図形の表現の様々を理解して事象の考察に活用するようにする。 ◎ 複素数の図形的な意味が理解できる ◎ 複素数の演算の図形的な意味が理解できる ◎ 3次関数を解析幾何学的方法で考察することに意欲的に取り組む	前期中間Ⅰまで 予定 10 10 実施 0
5		<前期中間試験Ⅰ>		前期中間Ⅱまで
6		<前期中間試験Ⅱ>		予定 8 18 実施 0
7・8	1章 平面上の 曲線	1 2次曲線 2 媒介変数表示と極座標	平面上の曲線がいろいろな式で表されることについて理解し、それらを事象の考察に活用できるようにする。 ◎ 軌跡の考え方を利用して放物線・楕円・双曲線の方程式を導くことができる ◎ 2次曲線と接線や接点を求めることができる	前期期末まで 予定 12 30 実施 0
9		<前期期末試験>		
10		数学Ⅲ基礎演習 大学入学共通テスト型の演習 (数学Ⅰ・Ⅱ・A・B)	分野融合問題を解くことを通じて、これまで学んだことの有機的なつながりを知る。考えたこと、判断したことを数学的な処理での表現方法を知る。 ◎ 扱った典型問題の理解を通じて、類題が解けるようになる。 ◎ 実際に解いたことの記録と、友人・教員の解き方との比較でよりよい表現を身につける。 ○ 解き直しを行い、すべての公式・基礎問題に瞬時に反応できるようになろう。	予定 14 44
11		<後期中間試験> 実践問題集	実践演習を解くことを通じて、これまで学んだことの有機的なつながりを知る。考えたこと、判断したことを数学的な処理での表現方法を知る。 ◎ 計測して問題を解くことを通じて、共通テストで十分な点数をとれるための実力をつける。 ◎ 実際に解いたことの記録と、友人・教員の解き方との比較でよりよい表現を身につける。 ○ 解き直しを行い、すべての公式・基礎問題に瞬時に反応できるようになろう。	実施 0
12				
1		<後期期末試験> 個別学力試験対策演習	実践演習を解くことを通じて、これまで学んだことの有機的なつながりを知る。考えたこと、判断したことを数学的な処理での表現方法を知る。 ◎ 大学入学個別学力試験の過去問を解くことを通じて、難問に対応できるための実力をつける。 ◎ 実際に解いたことの記録と、友人・教員の解き方との比較でよりよい表現を身につける。 ○ 解き直しを行い、すべての公式・基礎問題に瞬時に反応できるようになろう。	年度末 予定 10 54 実施 0
2・3				